令和7年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

# 渡良瀬幹線道路（塩原工区）　バイパス整備事業

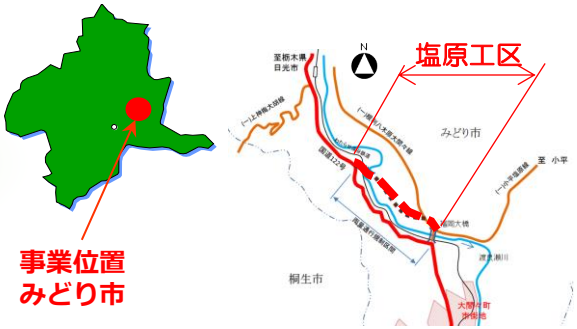
よくわかる公共事業

事業継続中

## どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

**バイパス道路をつくります**




**地元の声**

・現道の国道122号は雨量規制や災害で通行止めとなることが多く危険です。（地元住民）
・カーブも多く、見通しが悪いため交通事故が起こりそうです。（地元住民）

**事業の概要**

■ 事業箇所：みどり市大間々町下神梅～塩原
■ 事業内容：バイパス整備　延長1.4km 道路幅 10.5m
■ 事業期間：平成28年度～
■ 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
■ 重要物流道路：該当（代替・補完路）
■ 現在の交通量：12,148台/日（自動車）（R3年度）　8人/12時間（歩行者）　33台/12時間（自転車）
■ 計画交通量　：11,600台/日（R22年度）

### 事業前

◆ 現道の国道122号は雨量通行規制区間や斜面崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、 災害時に通行止めとなるおそれがあります。

事業前の状況

### 事業後

◆ 現道の危険箇所を回避することで、災害時にも機能する強靭な道路ネットワークが確保されます。

事業後のイメージ

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後（目標） |
|---|---|---|
| 現道の通行規制件数 | 7件（H23～） | 0件（7件減少） |
| 現道の災害危険箇所 | 21箇所 | 0箇所（21箇所減少） |

## 事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

### 今、何をしているか

令和7年度は用地取得と橋梁の工事用道路をつくる工事を実施します。

**事業のすすみ具合**　事業開始 ●――――●・・・